

KENWOOD

DSPグライコCDプレーヤー

D707

DSPグライコカセットプレーヤー

X707

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

DD DOLBY B NR

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスिंग
グコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビ
ー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスिंग
グコーポレーションの登録商標です。

CONTENTS

● 安全上のご注意	3
● 使用上のご注意	8
● 操作のしかた	
 CD MODE (D707)	10
 TAPE MODE (X707)	12
 DSP MODE	14
 ANALYZER MODE	20
取り付けかた	22
接続のしかた	22
故障かな?と思ったら	23
保証とアフターサービス	24
仕様一覧	25

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要なきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



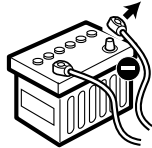
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



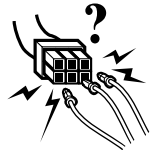
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



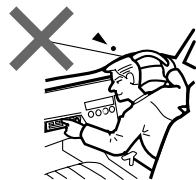
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げになる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



警告



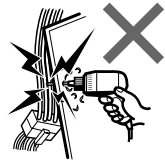
実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。
火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



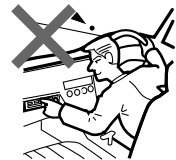
実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

運転者が各種設定や調整をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



禁止

ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

警告



実施

万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

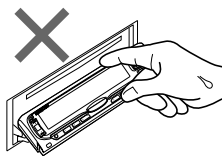
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

⚠ 注意



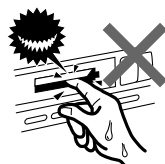
禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれて怪我をすることがあります。



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に指を入れてください。怪我をすることがあります。



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



禁止

ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをすることがあります。



注意

本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

接続

本機に接続できるセンターユニットは、MD/CDレシーバー"MZ907"、MDレシーバー"M707"、CDレシーバー"Z707"のいずれか1台です。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

結露について

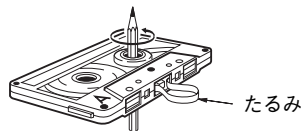
寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。

このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

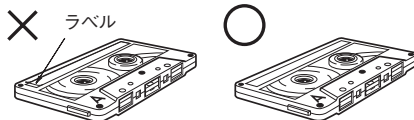
もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用はしないでください。

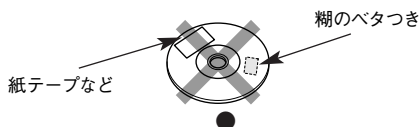
ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

使用できないCD

記録面や、ラベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

Disc Markの付いているCD以外は使用しないでください。

CDの取扱について

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いには、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



CDの保存

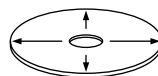
直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れ

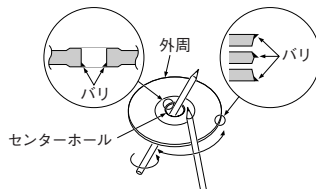
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音とびの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CD用アクセサリについて

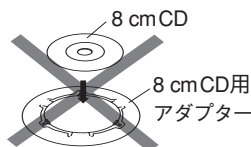
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

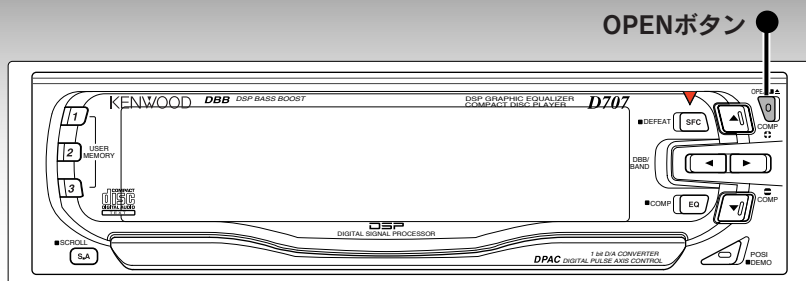
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CD MODE



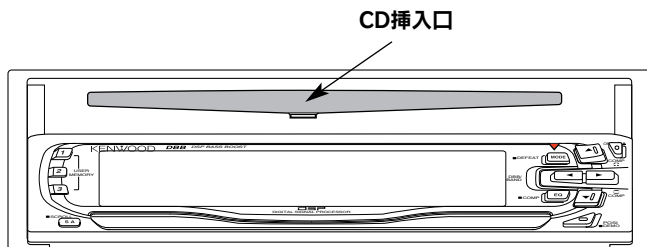
CD MODE



1 パネルオープン -CDを挿入する-

OPENボタンを1秒以上押しすると、操作パネルがフルスライドしてCDをローディングできるようにになります。

CDをローディングすると、操作パネルが自動的に元のアングル位置に戻ります。



2 CDプレイ -CDを演奏する-

- CDが入っていないとき (INインジケーター消灯)
CDのレーベル面を上にしてを差し込むと「Load」と表示されます。ローディングが完了すると、センターユニットのトラックNo.と演奏時間が表示され、CDの演奏が始まります。
 - CDが入っているとき (INインジケーター点灯)
センターユニットのSOURCEボタンを押して、「CD」または「CD2」を表示させると、CDの演奏が始まります。
- CDプレーヤーの操作はセンターユニットで行います。

3 イジェクト –CDを取り出す–

OPENボタンを1秒以上押すと操作パネルがフルスライドしてCDがイジェクトされます。

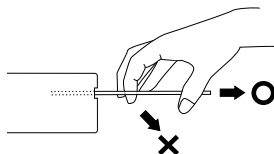
◆ MEMO ◆

- CDを取り出してOPENボタンを押すと元のアングル位置に戻ります。
- イジェクト後操作パネルが30秒間以上オープン状態の場合は、操作パネルは自動的に元のアングル位置に戻ります。
- 本機の電源がオフ、またはエンジンキーがオフのときはOPENボタンを押すとCDがイジェクトされ、15秒後に操作パネルが自動的にクローズします。



CDの取り出しかた

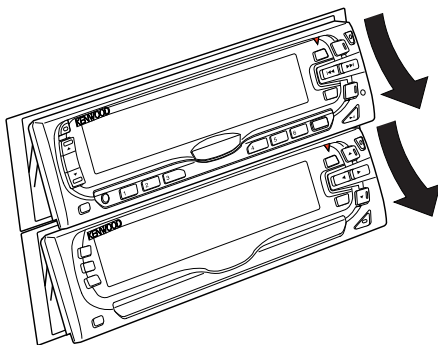
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



4 操作パネルアングル調整 –ディスプレイが見やすい角度に調整する–

● 操作パネルをスライドさせる

OPENボタンを押すごとに操作パネルが1ステップずつ3段階までスライドします。



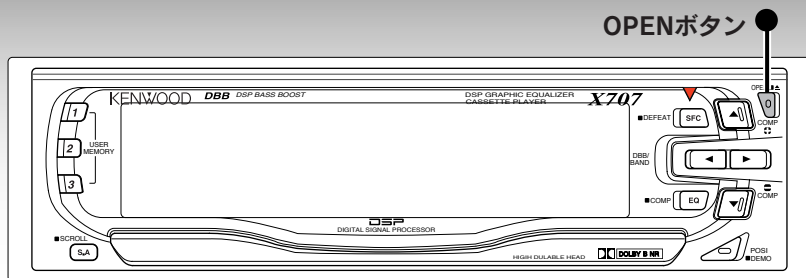
● 操作パネルを閉める

3段階目の位置でOPENボタンを押すと、操作パネルが閉まります。

◆ MEMO ◆

- センターユニット(M707、Z707)でアングルリンク機能をオンに設定している場合は、センターユニットの操作パネルのアングル調整を行なうと、本機の操作パネルも連動してアングル角度が替わります。
- アングルリンク機能をオンしても、本機の操作パネルアングル調整を行った場合は、センターユニットは連動しません。また、センターユニットとアングル角度が変わった場合は、本機の操作パネルは角度が違った状態で動作します。角度を合わせたいときは、本機およびセンターユニットの操作パネルをクローズしてから、再度操作パネルのアングル調整をおこなってください。
- センターユニット(M707、Z707)付属のリモコンで本機の操作パネルアングル角度を替えたい場合は、センターユニットのアングルリンク機能をオンにしてください。
- 本機の電源をオフ、または車両のエンジンキーをオフにすると、操作パネルは自動的に閉まります。
- 調整したアングル位置は自動的にメモリーされます。次回電源をオンにしたときに再調整する必要はありません。
- パネルがスライドした状態でご使用になる際に操作ボタンを強く押すと、保護機能が働いて操作パネルが閉まる方向に動くことがあります。

TAPE MODE

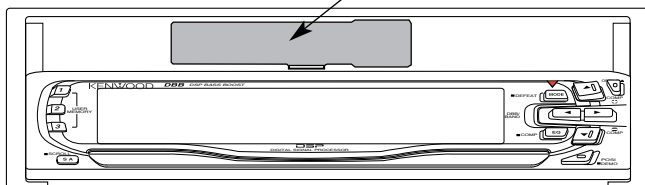


1 パネルオープン -カセットテープを挿入する-

OPENボタンを1秒以上押すと操作パネルがフルスライドしてカセットテープをローディングできるようになります。

カセットテープをローディングすると、操作パネルが自動的に元のアングル位置に戻ります。

カセットテープ挿入口



2 テーププレイ -テープを演奏する-

- カセットテープが入っていないとき (IN) インジケータ消灯
テープの見える面を右側にしてカセットテープを差し込むと、カセットテープが引き込まれてテーププレイが始まります。
- カセットテープが入っているとき (IN) インジケータ点灯
SOURCEボタンを押して、「TAPE」を表示させると、テーププレイが始まります。
カセットプレーヤーの操作はセンターユニットで行います。

3 イジェクト -カセットテープを取り出す-

OPENボタンを1秒以上押すと操作パネルがフルスライドしてカセットテープがイジェクトされます。

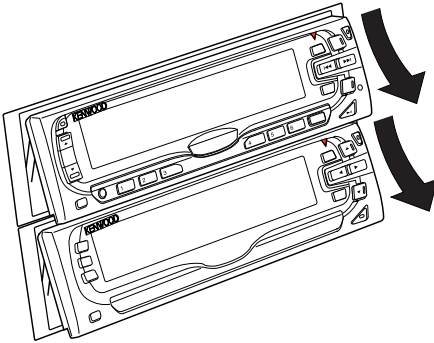
◆ MEMO ◆

- カセットテープを取り出してOPENボタンを押すと元のアングル位置に戻ります。
- イジェクト後操作パネルが30秒間以上オープン状態の場合は、操作パネルは自動的に元のアングル位置に戻ります。
- 本機の電源がオフ、またはエンジンキーがオフのときはOPENボタン押すとカセットテープがイジェクトされ、15秒後に操作パネルが自動的にクローズします。

4 操作パネルアングル調整 -ディスプレイが見やすい角度に調整する-

● 操作パネルをスライドさせる

OPENボタンを押すごとに操作パネルが1ステップずつ3段階までスライドします。



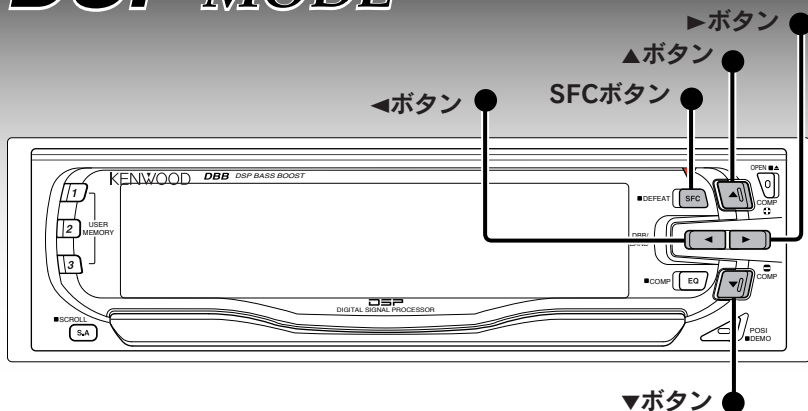
● 操作パネルを閉める

3段階目の位置でOPENボタンを押すと、操作パネルが閉まります。

◆ MEMO ◆

- センターユニット(M707、Z707)でアングルリンク機能をオンに設定している場合は、センターユニットの操作パネルのアングル調整を行なうと、本機の操作パネルも連動してアングル角度が替わります。
- アングルリンク機能をオンしても、本機の操作パネルアングル調整を行った場合は、センターユニットは連動しません。また、センターユニットとアングル角度が変わった場合は、本機の操作パネルは角度が違った状態で動作します。角度を合わせたいときは、本機およびセンターユニットの操作パネルをクローズしてから、再度操作パネルのアングル調整をおこなってください。
- センターユニット(M707、Z707)付属のリモコンで本機の操作パネルアングル角度を替えたい場合は、センターユニットのアングルリンク機能をオンにしてください。
- 本機の電源をオフ、または車両のエンジンキーをオフにすると、操作パネルは自動的に閉まります。
- 調整したアングル位置は自動的にメモリーされます。次回電源をオンにしたときに再調整する必要はありません。
- パネルがスライドした状態でご使用になる際に操作ボタンを強く押すと、保護機能が働いて操作パネルが閉まる方向に動くことがあります。

DSP MODE



サウンドフィールドコントロール (SFC)モード

—設定されているサウンドフィールドコントロールを呼び出す—

1

1. SFCボタンを押すと^{DSP}インジケーターが点滅し、サウンドフィールドコントロールモードになり、現在の設定が表示されます。

2. SFCボタンを押すごとにサウンドフィールドコントロールが下記の順で切り替わります。

▶ BYPASS ▶ CONCERT HALL ▶ STADIUM ▶ CHURCH ▶ LIVE HOUSE ▶
THEATER ◀ CLUB DISCO ◀ LISTENING ROOM ◀ STUDIO ◀ DISCO ◀ JAZZ CLUB ◀

1. BYPASS

効果を加えずそのまま出力します。

2. CONCERT HALL

大会場のライブの臨場感を再現して車内を大きな音楽空間に変えます。BGM的に音楽を聴きたいときにも適します。

3. STADIUM

広大なスタジアム会場で解放感に満ちたサウンドがあふれだします。

4. CHURCH

ヨーロッパ伝統の大聖堂の響きを再現、小編成のクラシックに最適です。

5. LIVE HOUSE

中規模なライブハウスのステージを体験できます。

6. JAZZ CLUB

眼前で演奏する小規模なジャズクラブのステージを体験できます。

7. DISCO

熱気あふれる大規模なディスコホールを再現します。

8. STUDIO

残響効果の少ない、録音スタジオの雰囲気になります。

9. LISTENING ROOM

オーディオリスニングルームのように最適な音場条件でソースを忠実に再現します。

10. CLUB DISCO

小規模のディスコホールのビートサウンドをメリハリよく再現します。


11. THEATER

映画館や劇場のような雰囲気が得られます。

◆ MEMO ◆

「CONCERT HALL」と「LISTENING ROOM」は「CONCERT」、「LISTENING」と表示されますが、20ページの「スクロール表示切り替え」で文字スクロールをオンに選択すると、最後の文字まで表示されます。

2 SFCレベル調整 —DSP効果レベルを調整する—

1. SFCボタンを押してサウンドフィールドコントロールモードにします。
2.  インジケーターが点滅している間、▲ボタンまたは▼ボタンを押すと下記のようにSFCレベルを調整できます。

SFC HIGH ...DSPの効果が大きくなります。


▲▼
SFC MID

▲▼
SFC LOW ...DSPの効果が小さくなります。

❖ MEMO ❖

- サウンドフィールドコントロールがBYPASSに設定されているときはSFCレベルは調整できません。
- お買い上げ時はMIDに設定されています。

3 DSPバスブーストレベル調整 —低音域をブーストする—

1. SFCボタンを押してサウンドフィールドコントロールモードにします。
2.  インジケーターが点滅している間、◀ボタンまたは▶ボタンを押すと下記のようにSFCレベルを調整できます。

DBB OFF ⇄ DBB STEP1 ⇄ DBB STEP2 ⇄ DBB STEP3

数字が大きくなるほどリア出力をブーストする低音域が広がります。

❖ MEMO ❖

- サウンドフィールドコントロールでBYPASS以外を選択すると、リア側の音が効果音中心となり低音が不足することがあります。このような時は、DSPバスブーストをオンにして低音域を加えることにより、量感を増すことができます。
- サウンドフィールドコントロールがBYPASSに設定されているときはDSPバスブーストは調整できません。
- お買い上げ時はDBB STEP2に設定されています。

4 DSP ディフェイト —DSPを解除する—

SFCボタンを1秒以上押すとDSP効果がない自然な音になります。各設定が下記のようになります。

サウンドフィールドコントロールBYPASS

イコライザーカーブFLAT

ポジション切り替えALL

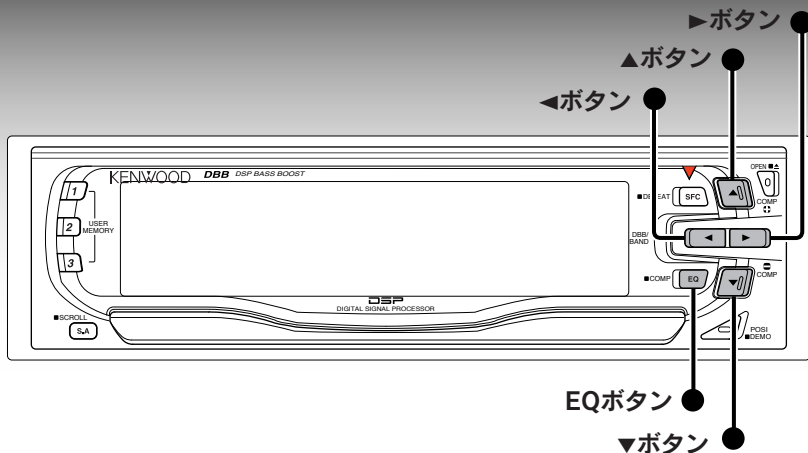
❖ MEMO ❖

- 10秒間何も操作しないと、サウンドフィールドコントロールモードは解除されます。
- ノンフェーディング出力にはDSPの効果はかかりません。



センターユニットの交通情報がオン中は、DSP効果が効きません。また、アナライザー切り替え、OPENボタン以外の操作ができなくなります。

DSP MODE

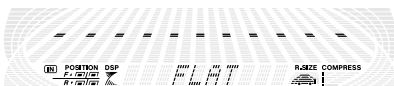


5 イコライザーモード —設定されているイコライザーカーブを呼び出す—

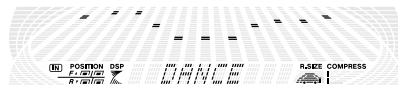
1. **EQボタン**を押すと インジケーターが点滅し、イコライザーモードになり、現在設定されているイコライザーカーブ名が表示されます。
2. **EQボタン**を押すごとにイコライザーカーブが下記の順で切り替わり、スピーカ表示部にイコライザーカーブが表示されます。

▶ FLAT ▶ POPS ▶ ROCK ▶ DANCE ▶ VOCAL

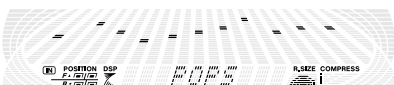
1. FLAT



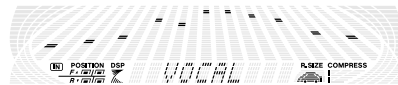
4. DANCE



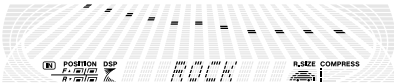
2. POPS



5. VOCAL





3. ROCK



❖ MEMO ❖

10秒間何も操作しないと、イコライザーモードは解除されます。

6 コンプレッション調整モード —ダイナミックレンジを圧縮する—

1. EQボタンを1秒以上押すと  インジケーターが点滅し、コンプレッション調整モードになり、現在の設定が表示されます。
2.  インジケーターが点滅している間、▲ボタンまたは▼ボタンを押すと下記のようにコンプレッションレベルが調整できます。

COMP OFF ⇄ COMP STEP1 ⇄ COMP STEP2 ⇄ COMP STEP3



数字が大きくなるほど圧縮率が高くなります。

❖ MEMO ❖

- 圧縮率を高くすると、クラシックなどダイナミックレンジの大きなソースを聴くときに、ロードノイズなどの騒音に埋もれがちなレベルの小さい音だけを持ち上げるので、ボリュームを変えなくても小さな音まで聴くことができます。
- 10秒間何も操作しないと、コンプレッション調整モードは解除になります。
- お買い上げ時はCOMP OFFになっています。

7 イコライザー調整 —音楽や車に合わせて音質を調整する—

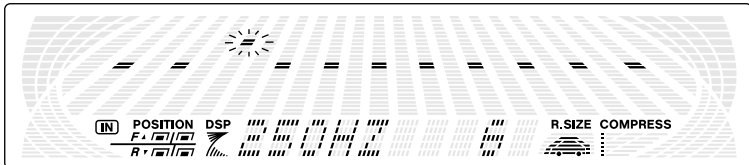
- ◀ / ▶ ボタンを押すごとに調整できる周波数バンドが移動します。

┌ 60 ⇄ 120 ⇄ 250 ⇄ 380 ⇄ 500 ⇄ 750 ⇄ 1K ⇄ 2K ⇄ 4K ⇄ 8K ⇄ 16K ─┘

の11バンドに切り替えることができます。

(Hz)

- ▲ / ▼ ボタンを押すごとにイコライザーレベルが上下します。レベルは-12 ~ +12 の間を13 ステップ (±6ステップ) で調整できます。イコライザーを調整すると、調整している周波数とレベルが表示されます。イコライザーカーブ名は「USER CURVE」になります。

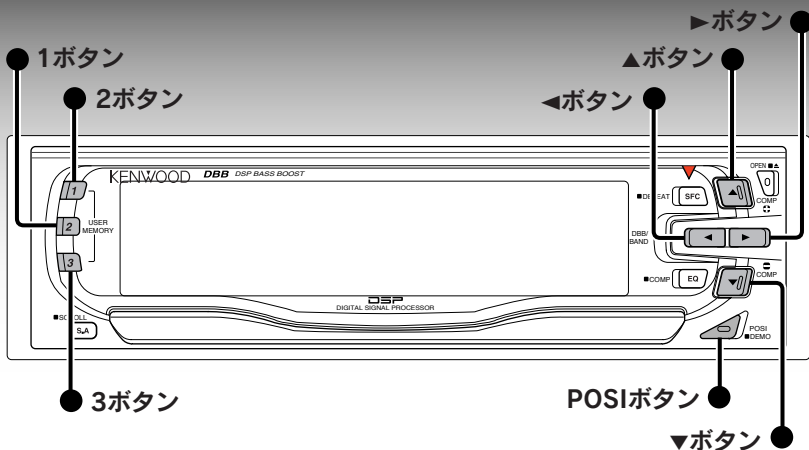


❖ MEMO ❖

- イコライザーレベルの調整は1つのバンドのみ上げるのではなく、カーブのように各音域を全体に調整してください。
- ノンフェーディング出力にはイコライザーはかかりません。

DSP MODE

DSP MODE



8

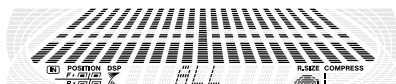
ポジション切り替えモード —聴く位置に合わせてDSP設定する—

1. POSIボタンを押すとインジケータが点滅し、ポジション切り替えモードになり、現在設定されているポジション位置が表示されます。
2. POSIボタンを押すごとにポジション位置が下記の順で切り替わります。

▶ ALL ▶ F RIGHT ▶ F LEFT ▶ FRONT ▶ REAR

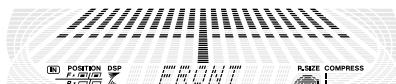
1. ALL

車室の中心



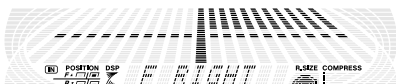
4. FRONT

前部座席が中心



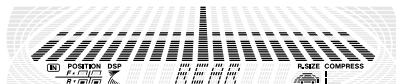
2. F RIGHT

前部座席右側が中心



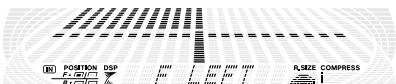
5. REAR

後部座席が中心



3. F LEFT

前部座席左側が中心




◆ MEMO ◆

- 10秒間何も操作しないと、ポジション切り替えモードは解除になります。
- ポジション切り替えは選択されたポジションの音が強調されるのではなく、選択されたポジションを中心にDSP効果を出すためのものです。
- バランス/フェーダー調整が中央位置になっていないと、正しいDSP効果が得られません。ポジションコントロールを行うときは、バランス/フェーダーを中央にしてください。

9


ルームサイズ調整

— 車内のスピーカーの位置、室内サイズに合わせた設定をする —

1. POSIボタンを押しポジション切り替えモードにします。
2.  インジケーターが点滅中に▲ボタンまたは▼ボタンを押すと下記のようにルームサイズを調整できます。

LARGE.....  1BOX,RVなど、フロントスピーカーとリアスピーカーが離れている場合

▲▼
MEDIUM....  セダンなど

SMALL.....  コンパクトカーなど、フロントスピーカーとリアスピーカーが近い場合

❖ MEMO ❖

- ポジション切り替えがALLに設定されているときはルームサイズは調整できません。
- お買い上げ時はMEDIUMになっています。

10

ユーザーメモリー — 各設定をメモリーする —

サウンドフィールドコントロールやイコライザーカーブなどDSPの各設定を3つまでメモリーすることができます。

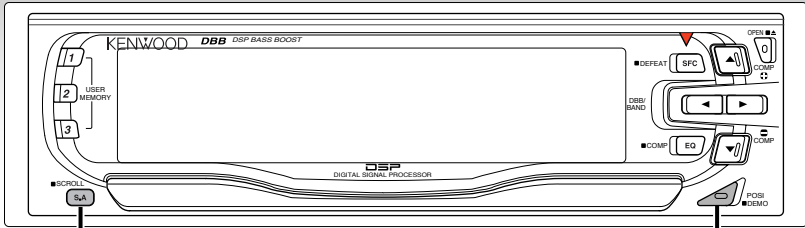
● 各種設定を登録する

登録したい設定にして**1、2、3ボタン**のいずれかを2秒以上押し、押したボタンに現在のサウンドフィールドコントロール、SFCレベル、DSPバスブーストレベル、コンプレッションレベル、イコライザーカーブ、ポジション位置、ルームサイズの設定がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。

● メモリーを呼び出す

1、2、3ボタンのいずれかを押し、メモリーNo./サウンドフィールドコントロール名/イコライザーカーブ名/ポジション位置がスクロール表示され、ユーザーメモリーされたDSP設定に替わります。

ANALYZER MODE



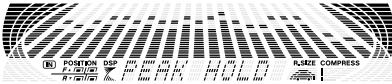
S.Aボタン

DEMOボタン

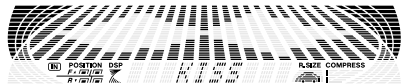
1 アナライザー切り替え —スペアナ表示を切り替える—

S.Aボタンを押すごとに下記のスペクトラムアナライザー表示に切り替わります。

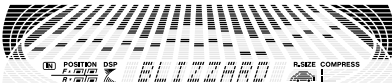
1. PEAK HOLD



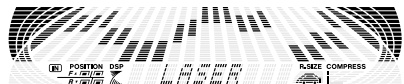
6. KISS



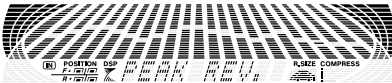
2. BLIZZARD



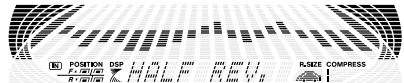
7. LASER



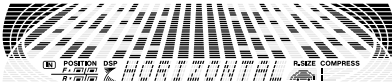
3. PEAK REV.



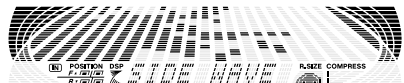
8. HALF REV.



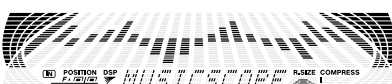
4. HORIZONTAL



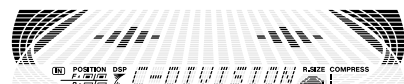
9. SIDE WAVE



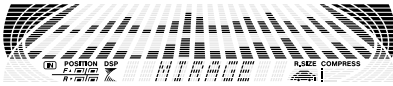
5. MUSICSCOPE



10. C-DIVISION



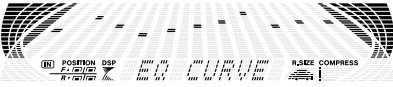
11.MIRAGE



13.LINK1

14.LINK2

12.EQ CURVE



❖ MEMO ❖

- センターユニットM707やZ707とLINK1、2を使用する場合は、センターユニットのファンクションセットでリンク表示モードの設定が合っているかご確認ください。
- LINK1はセンターユニットの各ソースでの動作に合わせて表示が変わります。

2 スクロール表示切り替え —文字をスクロールして表示する—

S.Aボタンを1秒以上押すごとに文字スクロール機能がオン/オフします。オンになると「SCROLL ON」と表示し、サウンドフィールドコントロール名/イコライザーカーブ名/ポジション位置が繰り返しスクロール表示されます。

3 デモンストレーション —スペアナ表示を次々に替えて表示する—

DEMOボタンを1秒以上押すと「DEMO ON」と表示してデモンストレーションモードになります。

オンになるとスペクトラムアナライザー表示を順次切り替えて表示します。

- ☞ いずれかのボタンを押すとデモンストレーションは解除され、PEAK HOLDスペアナ表示になります。

取り付けかた

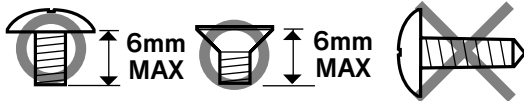
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

注意

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。

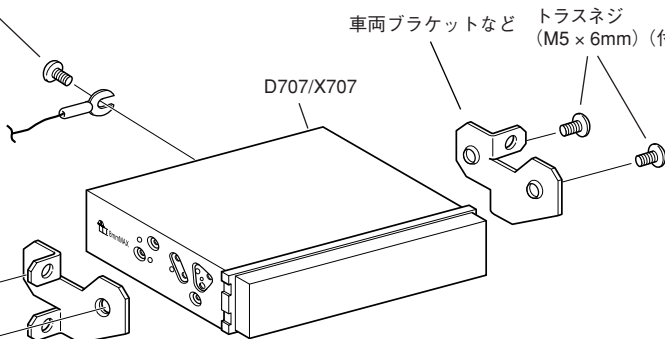


バインドネジ (M4 × 6mm)
(付属)

車両ブラケットなど トラスネジ
(M5 × 6mm) (付属)

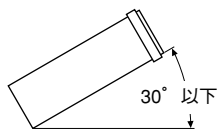
❖ MEMO ❖
別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

トラスネジ
(M5 × 6mm) (付属)



注意

- 本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。
30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。
破損することがあります。



❖ MEMO ❖

別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

接続のしかた

本機の接続はセンターユニット付属の取扱説明書内に記載されている接続図をご参照ください。

接続の際、センターユニットのMZ-BUS端子に付いている保護キャップを本機の空いているMZ-BUS端子に差し込んでください。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
音質が悪い（音が歪む）	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてください。
CDがプレイしない	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しになっている。 CDが異常に汚れている。 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> レベル面を上にして入れなおしてください。 “CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。（⇨P.9） しばらく、放置してから使用してください。
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> 取り付け角度が、30°を越えている。 取り付けが不安定になっている。 CDに傷や汚れなどがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 30°以内の角度に調整してください。 しっかりと固定してください。 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、CDの問題です。“CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。（⇨P.9）
音質が悪い （再生中ノイズが出る）	<ul style="list-style-type: none"> CD自身の音質。 CDに傷や汚れなどがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のCDを再生して問題がなければCD自身の音質です。 “CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。（⇨P.9）
DSP効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 2スピーカーシステムになっている。 フロント出力とリア出力が逆に接続されている。 スピーカーの右と左が逆に接続されている。 スピーカーの⊕と⊖が逆に接続されている。 フェダー、バランスの調整が片側に片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> センターユニット付属の取扱説明書の“接続のしかた”を見てフロント、リアの4スピーカーシステムにしてください。 センターユニットのフェダー、バランスをセンターに設定してください。

保証とアフターサービス(よくお読みください。)

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター	エンハンスト・デュアルビット 4次 $\Delta\Sigma$ 方式 20 bit
D/Aコンバーター	64倍オーバーサンプリング
イコライザー中心周波数(Hz)	4次 $\Delta\Sigma$ 方式 20 bit 128倍オーバーサンプリング
可変範囲	60, 120, 250, 380, 500, 700 1k, 2k, 4k, 8k, 16kHz
アナライザーバンド	-8 ~ +8 dB (±6ステップ)
アナライザーステップ数	21バンド 13ステップ

CDプレイヤー部 (D707)

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz (±1 dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

カセットデッキ部 (X707)

テープスピード	4.76 cm/秒
ワウ & フラッター	0.08 % (WRMS)
周波数特性(70 μ s)	25 Hz~22 kHz (±3.0 dB)
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)
S/N比 (IHF-A)	60 dB (Dolby B NR OFF) 68 dB (Dolby B NR ON)

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	0.9 A

寸法・質量

埋込寸法 (W×H×D)	178 × 50 × 160 mm
質量 (重さ) (D707)	1.6 kg
(X707)	1.5 kg

付属部品

接続ケーブル	1本
トラスネジ (M5×6mm)	4本
バインドネジ (M4×6mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。